

いのちと平等をめぐる13章 優生思想の克服のために

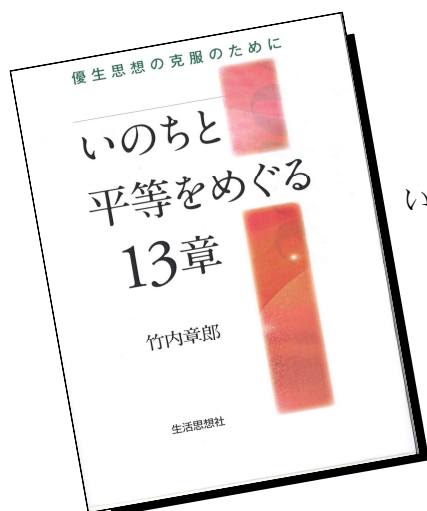
竹内章郎 著 岐阜大学名誉教授

★定価2420円(本体2200円+税) A5判・並製280ページ

★生活思想社 ISBN 978-4-916112-30-9 C0012

★こんな棚に…生命倫理学・優生思想問題・いのちや平等を考える・哲学

★読者対象…高校・大学の教科書として。障がい者・高齢者施設などで働く人、医療・看護職の人や学びの場に。



「脳死」者は本当に死者か？
「死ぬ権利」とは？
「出生前診断」をどうとらえるべきか？…

いのちにかかわるさまざまな問いを私たちはどう考えればいいのか？
優生思想とその批判を根幹に
歴史を振り返りながら、そして社会・文化の広がりの中で問う
いのちと平等が響き合う13章

第1部 人の生き死には決められることだろうか？	第8章 功利主義と道徳主義—パーソン論／ 生命の質論 vs. 生命の尊厳を含めて
第1章 重い障がいを持つ人たちの現実	第8章付論 パーソンという言葉について
第2章 「死ぬ権利」論	第9章 二重結果論と滑り坂理論
第2部 優性思想の根深さと能力による差別	第5部 病や障がいはどのように捉えられるか？
第3章 優生思想の歴史	第10章 病の捉え方と生命の捉え方の関連
第4章 現代社会にはびこる優生思想	第11章 障がい概念の革新：障害者という言葉、 障がい概念の関係性
第5章 近代社会における能力による差別の位置 と優生思想	第6部 より豊かな人間の命のために
第3部 身近に迫る生死の決定	第12章 「能力の共同性」論
第6章 出生前診断をめぐる諸問題	第13章 出来事の原因、社会・文化の 〈垂直的發展〉から〈水平的展開〉へ
第7章 「脳死」・臓器移植論の現実が味するもの	
第4部 倫理的議論について	

竹内章郎 (たけうち あきろう)

1954年、神戸市生まれ。社会哲学・生命倫理学。社会福祉法人いぶき福祉会評議員。岐阜大学名誉教授。

著書 『いのちの平等論—現代の優生思想に抗して』岩波書店・2005年、『哲学塾 新自由主義の嘘』岩波書店・2007年、『平等の哲学—新しい福祉思想の扉をひらく』大月書店・2010年、など。

◆図書出版 生活思想社 〒162-0825 新宿区神楽坂2-19-506
電話・FAX 03-5261-5931 (自動切替)
メール GFD05112@nifty.com <http://seikatusisosya.life.coocan.jp/>

注文カード	流通センター出版	貴店名(帖倉)	注文冊数	いのちと平等をめぐる13章 優生思想の克服のために 竹内章郎 著	定価 2420円
				発行所名●生活思想社 電話・FAX 03-5261-5931 ISBN978-4-916112-30-9 C0012 ¥2200E	

第1部 人の生き死には決められることだろうか？

第1章 重い障がいを持つ人たちの現実

- 1 重症心身障がい児・者の安楽死は「本人のため」？
- 2 内的意識がわからない既存の社会・文化
- 3 激痛は仕方ないか
- 4 〈生命の中の社会・文化〉
- 5 病・障がい VS. 健康・健全か？

第2章 「死ぬ権利」論

- 1 死ぬ権利 the right to death の背景
- 2 「死ぬ権利」論の難点 (1)
——「悲惨な状態」, 無意味な生を言いつのる
- 3 「死ぬ権利」論の難点 (2)
——歴史上の死の称揚に頼る問題
- 4 「死ぬ権利」論の難点 (3) ——権利論の形式の偏重
- 5 「死ぬ権利」論の難点 (4) ——自己責任問題の無視
- 6 「死ぬ権利」論の難点 (5) ——生命自体の自己保存傾向の無視

第2部 優生思想の根深さと能力による差別

第3章 優生思想の歴史

- 1 広範な優生思想
- 2 あまりにも隠蔽・看過されてきた優生思想 (1) ——プラトン
- 3 あまりにも隠蔽・看過されてきた優生思想 (2)
——ホップズ, ルソー, ニーチェ
- 4 あまりにも隠蔽・看過されてきた優生思想 (3) ——福沢諭吉, 平塚らいてう

第4章 現代社会にはびこる優生思想

- 1 英米での優生思想の政策・法制度化
- 2 戦後日本の優生思想の政策・法制度化
- 3 社会保障制度の中の優生思想
- 4 健康政策の中の優生思想

第5章 近代社会における能力による差別の位置と優生思想

- 1 近現代社会における人権論の弱点と優生思想
- 2 優生思想を存続させる学問のあり方問題
- 3 現代著名人の優生思想
- 4 商業的優生学と新自由主義, 生権力

第3部 身近に迫る生死の決定

第6章 出生前診断をめぐる諸問題

- 1 出生前診断問題への入り口
- 3 技術的進展に伴う優生優位思想的問題
- 4 中絶が犯罪にならない理由
- 5 優生保護法改正 [改悪] と反対運動: フェミニズムと障がい者運動

第7章 「脳死」・臓器移植論の現実が意味するもの

- 1 「脳死」・臓器移植論周辺の「死なせる」議論
- 2 臓器移植法と「脳死」判定基準: 〈「脳死」に臓器移植が内在する〉
- 3 「脳死」=死体論の誤りの深刻さ
- 4 「脳死」・臓器移植が示す大きな問題

第4部 倫理的議論について

第8章 功利主義と道徳主義

——パーソン論/生命の質論 vs. 生命の尊厳を含めて

- 1 問題多きパーソン論と生命の質論

- 3 功利主義の功罪

第8章付論 パーソンという言葉について

- 1 もともとは仮面という意味
- 2 パーソンと人間, パーソンの市場性
- 3 パーソンに関わる平等と不平等
- 4 パーソンなる言葉の位置

第9章 二重結果論と滑り坂理論

- 1 二重結果論の行き着く先
- 2 二重結果論の問題点
- 3 滑り坂理論の概要
- 4 滑り坂理論への非難
- 5 反滑り坂理論の問題点
- 6 滑り坂理論を超えて

第5部 病や障がいはどのように捉えられるか？

第10章 病の捉え方と人間の捉え方の関連

- 1 特定病因論的病気観
- 2 社会医学的病気観
- 3 分子生物学的遺伝学的病気観
- 4 病気観のあり様の深刻さ

第11章 障がい概念の革新:

「障害者」という言葉, 障がい概念の関係性

- 1 障がい者把握の新たな提起
- 2 障がい概念における分離的 [媒介的] 結合から他者性, 関係性へ
- 3 障がい概念の三区分と「訳語」から
- 4 能力不全disabilityの関係性

第6部 より豊かな人間の命のために

第12章 「能力の共同性」論

- 1 「能力の共同性」論の概要と私的所有論
- 2 所有概念から「能力の共同性」論へ
- 3 「能力の共同性」論に至る諸議論
- 4 「能力の共同性」論の射程——能力の私的所有の成立

第13章 出来事の原因,

社会・文化の〈垂直的發展〉から〈水平的展開〉へ

- 1 出来事・行為の生起と正当化・非正当化
- 2 社会・文化の〈垂直的發展〉から〈水平的展開〉へ
- 3 これからの社会・文化のあり方に向けて
- 4 個人の内面と世界の俯瞰との結合